

平成 27 年度 第 1 回伊勢市環境審議会 概要

1. 日 時 平成 27 年 7 月 8 日 (月) 午後 7 時～

2. 場 所 伊勢市役所東庁舎 4 F 4-2 会議室

3. 出席者

川端 利生 (公共的団体 : 伊勢農業協同組合)
杉田 英男 (公共的団体 : 伊勢湾漁業協同組合)
森本 幸生 (公共的団体 : 伊勢市総連合自治会)
竜田 和代 (公共的団体 : 伊勢市女性団体連絡協議会)
山本 実 (公共的団体 : 小俣町商工会)
高橋 虎彦 (公共的団体 : いせしま森林組合)
朴 恵淑 (学識者 : 三重大学)
中松 豊 (学識者 : 皇學館大学)
谷口 智雅 (学識者 : 三重大学)
岡本 忠佳 (学識者)
笹岡 哲也 (神宮司廳)
打田 雅敏 (三重県南勢志摩地域活性化局)
石原 正博 (公募)
赤坂 知之 (公募)
大中澄美子 (公募)
【欠】 中村 貴司 (公共的団体 : 伊勢商工会議所)
高橋 克彦 (公共的団体 : 伊勢市環境会議)

4. 概 要

(1) はじめに

- 市環境生活部長 (坂本) 挨拶
 - ・環境審議会委員の任期は 2 年
 - ・今期 (H27~28 年度) の審議会の役割は「第 2 期環境基本計画の進行管理」の審議

- 各委員の自己紹介
 - ・所属団体等

(2) 会長・副会長の決定について

○次のとおり決定しました。

会 長：朴 恵淑（三重大学）

副会長：中松 豊（皇學館大学）

○会長（朴）挨拶

- ・伊勢志摩サミットが来年開催されることがチャンスである。
- ・4Kという言葉があり、4つのKは「子育て」「経済」「観光」そして「環境」であり、この4つがうまくバランスの取れた三重になればいいと思っている。伊勢市はトップランナーとして環境を横軸として取り組んでいていただきたい。環境はあらゆることに関わるので責任感を持って関わらせていただきたい。

○副会長（中松）挨拶

- ・市と大学で連携協定を締結しており、小学校への出前授業や環境イベントへの参加等市の環境課とは親密な関係で仕事をさせていただいている。
- ・環境審議会は初めて委員をさせていただくので皆様から教えをいただき朴会長をサポートしていきたいのでご協力よろしくお願いします。

(3) 第2期伊勢市環境基本計画について（諮問）

○事務局より諮問概要説明

- ・第2期環境基本計画の計画期間は、平成27年度から平成31年度までの5年間となっている。
- ・市環境基本条例11条第2項「市長の諮問に応じ、環境の保全に関する基本的事項の調査審議」がある。
- ・第2期伊勢市環境基本計画の進行管理に関して諮問する。

○市長挨拶

- ・伊勢志摩サミットが決定し、首相の言葉からも伊勢志摩の自然環境、伊勢神宮の伝統文化について重要視していただいている。この地域全体の環境保全、環境政策に多くの方がご尽力いただいたこともサミット決定のひとつの理由と言えらると思う。今後も皆様のご意見をいただきながら伊勢の環境を次世代につなげていきますのでよろしくお願いします。

○諮問

- ・市長より会長に諮問書を交付

○委員と市長の意見交換

- ・鈴木市長には4つのKのうち「環境」について優先的に言っていただきたい。自然環境や人間環境、子育てするにも環境が大事である。環境を横軸として基本を担うものとして様々な場で環境のKを発信していただきたい。また、オール伊勢でサミットに向けて取り組んでいただき、伊勢らしさをPRしてほしい。

- ・きっかけを持ってかわることもあるので伊勢志摩サミットや大学の連携などをさかいに伊勢市や三重県がより発展できるよう環境についての意見・集約・知見等についてご協力させていただきますのでお願いします。
- ・東大淀小学校で全校生徒対象の皇學館大学の昆虫を活用した出前授業を計画しています。連携している中で審議会の皆さまもいろいろ動いていただくのも一つではないでしょうか。
- ・海が環境が今の現状はあまりにもよくない。川の水がきれいになることはいいことであるが、海の生物にとっては毒となることもある、あさりや鮮魚類なども 10 年前とくらべ大きく減っており、そういったことも知っていただきこれからの施策を検討いただきたい。
- ・水を専門としており、水が豊かである伊勢で次世代につなげるように学んできたことや研究してきたことを提供し、意見交換したい。
- ・勢田川は市民の憩いの場であった川で、伊勢湾台風等もあり治水の取組に力を入れてきたが、昨今は環境会議の取組や下水道の普及で、環境が少し良くなってきた。今後も頑張っていきたい。
- ・駅前等に花を植えているが最近猫の糞害がすごい。駅前で糞があったり臭いもするため最近気になっている。
- ・環境を良くしていく中でいろいろな意見があるということを感じました。治水と環境や糞害と動物の共生などをどのように折り合いをつけていくのが大事なポイントになると感じました。宮川流域の市町で宮川流域ルネッサンスという協議会を作っており、川や海のことを考えていく上でも近隣自治体にも協議を求めていくことが大事だと感じました。また、以前に海を良くしていくのにまず森林からという話も伺っており、森林に目を向けることも大事だと感じています。治水・生活排水の施策について老朽化が進んでいるインフラ整備についても自然環境との共生をテーマに皆様の意見をいただいたり、先進技術を取り入れていくことが大事と思っています。（市長）

(4) 第2期計画の概要について

○現計画の概要説明（事務局）

- ・資料「第2期伊勢市環境基本計画」をもとに、現計画の構成、基本方針等を説明

(5) 平成27年度環境に関する施策の取組について

○市の掲げる施策の状況について説明（事務局）

- ・資料「第2期伊勢市環境基本計画重点事業 進捗確認シート」、「第2期伊勢市環境基本計画 施策推進確認シート」をもとに、市の平成27年度の施策状況について説明

○質疑・意見等

- ・ESD・環境教育の部分で伊勢市には、ユネスコスクールの登録校がないため、環境面において様々な取組を行っている伊勢にてユネスコスクールも推進していただきたい。
伊勢志摩国立公園 70 周年のイベントもあると思いますが、そういった場でも関わっていただくといいのではないかと。
- ・横山ビジターセンターのふれあい推進協議会に参加し、ボランティアをしております。音無山のバードウォッチングや五十鈴川の生き物観察をしていますので、そういったことも伊勢市の実績になるのではないかと。横山ビジターセンターとも連携をとっていただき、国立公園での取組を伊勢市の実績としていただきたい。
大湊小学校でもヒヌマイトトンボの観察会を行っており、こういったことをそのまま ESD の取り組みとしてユネスコスクールに申請してもいいのではないかと。
- ・海岸清掃などの取り組みも学校に参加いただいていたたりする。
- ・ユネスコスクールは、上限 10 万円までの補助もありますのでお金もかかりませんし、自分の学校が国連の機関に認められるということは、児童への刺激にもなると思うのでぜひ推進いただきたい。
- ・伊勢市でも小学校・中学校で自然環境に関わるいろんな取組をしていると思うのでアピールしていけばいいと思う。普段の取組が ESD に関することでユネスコスクールに該当し、新たな手間のかからないことやお金の支援もあることを現場に説明してみてもどうか。
- ・環境教育の観点で観察会や海岸清掃など小学校がいろいろな取組を行っていることを伺いました。教育委員会へは以前から ESD について紹介しているところではありますが、再度確認させていただきます。
伊勢志摩国立公園 70 周年についても環境省の中部環境事務所と話をさせていただいており、サミットも含めてチャンスが来ていますので、三重県さんとも協力している部分 PR していかなければならないと思っています。伊勢はおもてなしの文化があり、きれいな伊勢を見ていただけるようにしていかなければいけない。これからいろんなことが決まっていくと思いますが、機会がある際には、方向性を皆様にも報告させていただきます。また、今後さらに全国菓子博や高校総体、国体などもりだくさんであり、環境だけでなく会長のお話のあった 4K について PR し、伊勢市を活性化していきたいのでご協力をいただきますようお願いいたします。（環境生活部長）
- ・本日紹介していただいたいろいろな取組が行政にあがっていない。底辺から情報が上がってきて行政はなにをするのか、市はなにをするのか、教育委員会はなにをするのか、みんなが何をやっているのかという部分を整理・共有していただきたい。